

沿線自治体の魅力が詰まったラッピングトレイン 「北総線沿線活性化トレイン」が出発！

2026年7月16日(木)から沿線地域の魅力を乗せて運行開始 🚆

北総鉄道株式会社(本社:千葉県鎌ヶ谷市 社長:持永 秀毅)では、2026年7月16日(木)より2027年2月末までの約7カ月半にわたり、千葉県や沿線自治体の協力のもと、ラッピング列車「北総線沿線活性化トレイン」(以下 沿線活性化トレイン)を運行します。

本件は、北総線の運賃値下げ(2022年10月1日実施)を機に、沿線地域の更なる活性化に資することを目的として、北総線沿線の自治体と当社で構成する「北総線沿線地域活性化協議会」(以下 活性協)の事業として実施しており、今回で5回目となります。

当社7500形車両1編成(8両)の先頭車両に千葉県および沿線市のマスコットキャラクターを散りばめたオリジナルヘッドマークを掲出し、事業に参画する活性協の構成自治体(市川市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、千葉県)が作成したオリジナル広告を車内外へ全面展開して沿線の多彩な魅力をアピールする「走るギャラリー」として京成線・都営地下鉄浅草線・京浜急行線まで乗り入れることで、北総線沿線の魅力を広く発信し、若い世代への認知拡大と居住促進につなげます。



オリジナルヘッドマークイメージ



昨年度の北総線沿線活性化トレイン

なお、7月16日(木)14時から、沿線活性化トレインのスタートを記念して、印西牧の原駅において「出発式」を実施予定です。

当社は、沿線自治体との相互協力を進め、北総線沿線に「訪れたい」「住みたい」と思われる魅力の発信や沿線の住みよさに資する鉄道事業の継続的な運営を行ってまいります。

本件の詳細は次頁のとおりです。

「北総線沿線活性化トレイン」運行について

1. 運行期間

2026年7月16日(木)～2027年2月末日(約7カ月半)

2. 運行範囲

- (北総線)全線
- (京成線)押上～京成高砂
- (都営浅草線)西馬込～押上
- (京浜急行線)羽田空港第1・第2ターミナル～泉岳寺

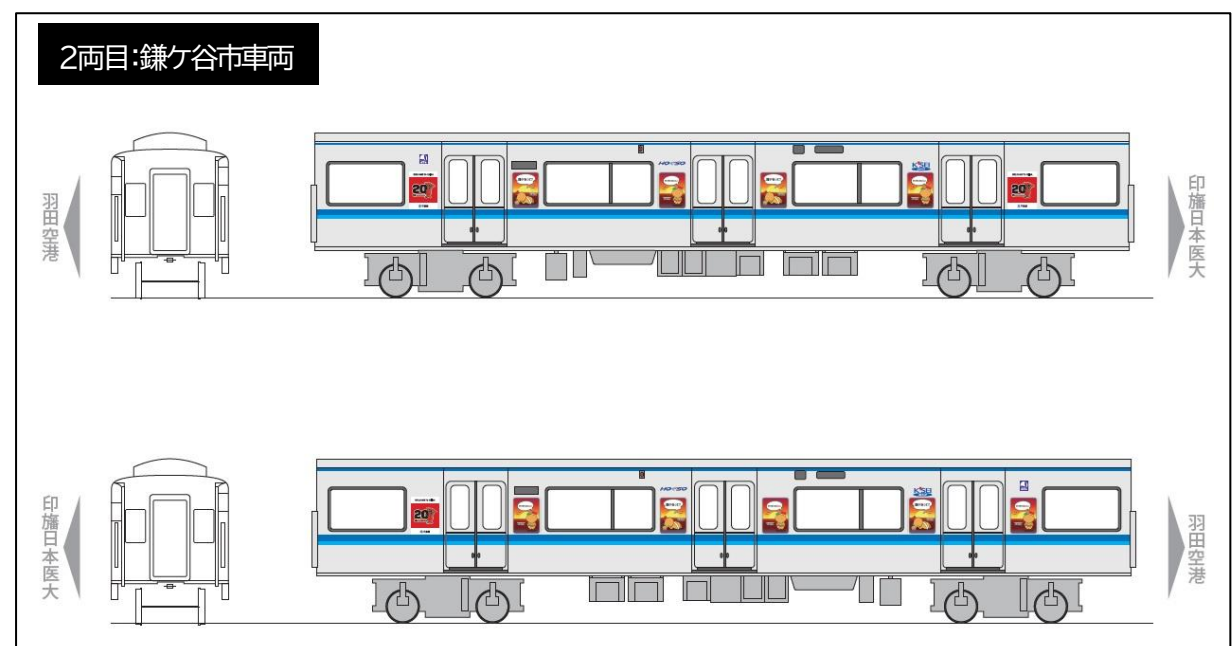
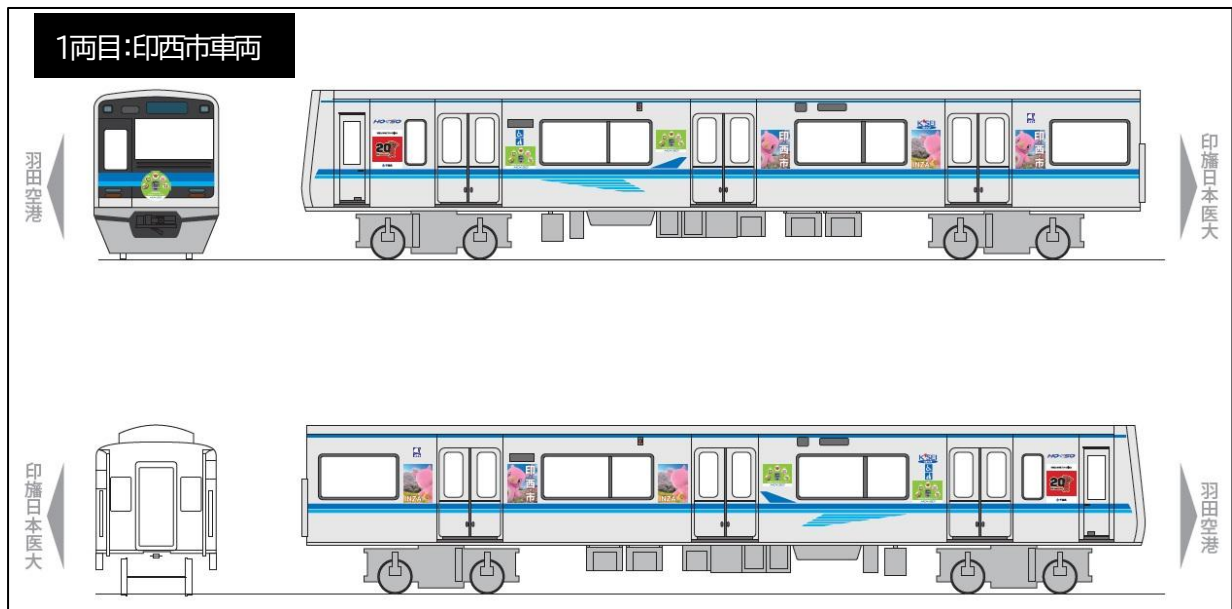
3. 北総線沿線活性化トレインの運行予定について

運行開始時に、当社ホームページにてご案内いたします。

4. デザイン

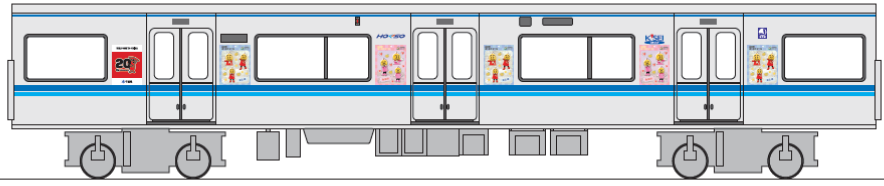
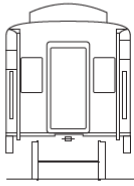
(1) 車体イメージ例

※画像は全てイメージです。デザインは、変更になる場合がございます。



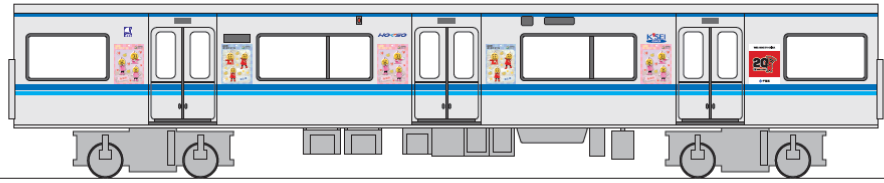
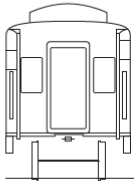
3両目:白井市車両

羽田空港



印旛日本医大

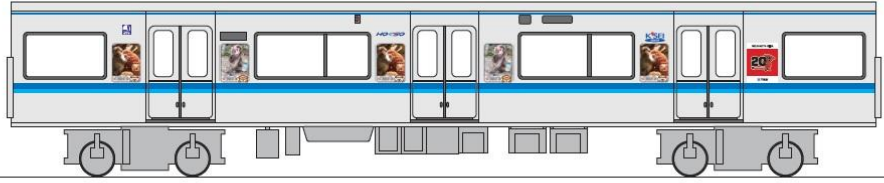
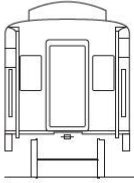
印旛日本医大



羽田空港

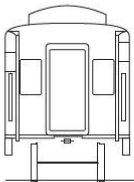
4両目:市川市車両

羽田空港



印旛日本医大

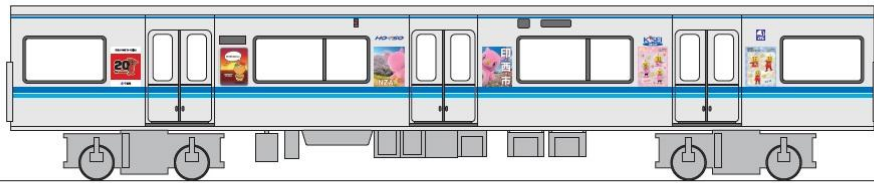
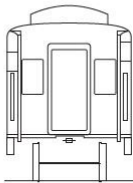
印旛日本医大



羽田空港

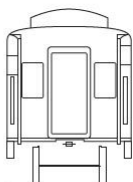
7両目:共管車両

羽田空港



印旛日本医大

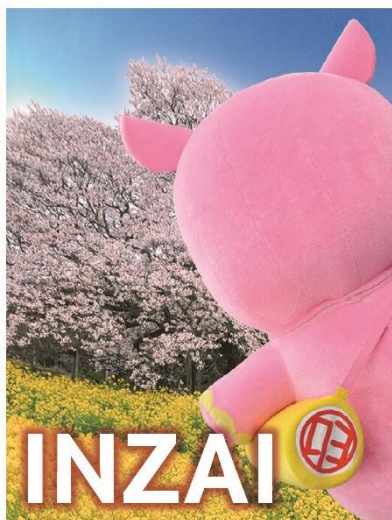
印旛日本医大



羽田空港

(2)車両外板自治体広告イメージ

※画像は全てイメージです。デザインは、変更になる場合がございます。





- 出発式(印西牧の原駅で実施予定)について
2026年7月16日(木) 14:00 から

【参考】北総線沿線地域活性化協議会について

1. 設立目的

北総線沿線地域活性化協議会は、北総線及び沿線地域の活性化を図ることを目的に、まちづくりや地域の賑わいの創出などの事業を鉄道事業者と沿線地域が連携して実施するため、2015年度に設立されたものです。

2. 構成団体(委員)

市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、千葉県、北総鉄道株式会社

以上